

ふたがた

2024

第97号



Contents

- P 2…総合施設長挨拶・とがくら園
- P 3…おおくら園・まつくらセンター
- P 4…かまくら園・医療課
- P 5…なでくらセンター・食事サービス課
- P 5…地域移行推進部
- P 6…整備推進室・総務課
- P 6…ホームページのご案内・編集後記

【写真の説明】

いい笑顔で1枚！ / なでくら		空を見上げると…？ / おおくら
	上手に書きました★ / かまくら	
お外へお散歩♪ / とがくら		景品ゲット！！ / まつくら

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
宮城県船形の郷

<https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>

〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21

TEL 022-345-3282

FAX 022-345-3984

1 挨拶

総合施設長 鷲 伸晃

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。年明け早々の能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被害に遭われた全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

新型コロナウイルスによって停滞していた経済活動が再び動き始めていますが、高齢で基礎疾患をお持ちの方も多い当施設におきましては、年が明けても新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策に追われているのが実情です。とはいえ、少しでも生活に楽しみを感じていただけるよう、少人数でのドライブ外出や利用者様の希望による食事を取り寄せる等を行い、好評を得ております。

また、今年度新たにリハビリ職員（理学療法士）が配置され、利用者様の心身機能や生活の評価を行い、個別のリハビリ支援や、車いすを使用されている方の適合性評価・修理等に取り組んでいます。最後になりますが、令和六年四月から今後五年間の指定管理継続が決定されるとともに、事務管理棟建替えも終了し、全面供用開始となります。

皆様には引き続き当施設の運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。

各部署の取り組み状況について

とがくら園

◎入所支援と生活介護の提供

【園の特色と目標】

高齢の方が多く、7割以上が車いすを使用しており、移動には介助が必要です。また、ボランティアの受入れ等、地域の方々との交流を通して生活意欲の向上につなげ、利用者の方々の笑顔をいっぱい引き出せるように取り組んでいます。

☆日中活動

各ユニットで、園内外の散歩や創作活動等を日々提供しています。皆様楽しんで取り組まれている姿を見ると、職員もつられて笑顔になります。日々の励みになっています。



☆ドライブ外出

公用車でドライブに行き、大和町内のスーパーで買い物をしました。前から欲しかった物を購入したり、車内から外の景色を眺めたりと、良い息抜きになりました。



☆ユニット集會

日常生活や催し物へのご意見・要望等を定期的に伺っています。茶話会も兼ねており、今回はケーキを準備して、集会后に皆様で召し上がりました。



☆新年行事

お正月には、半紙や絵馬に好きなことを自由に書いていただきました。また、新年会ではなんと獅子舞が登場！頭を噛まれてびっくりされた様子でした。獅子舞のご利益で、元気に一年を過ごしていただきたいと思います。



☆理学療法士によるリハビリ
個別のリハビリを実施し、身体機能の維持・向上に努めています。リハビリの内容は職員にも周知し、日々の生活に活かしています。



♡ おおくら園 ♡

◎入所支援と生活介護の提供

【園の特色と目標】

利用者様の社会参加に向け、日々支援に努めています。

また、ご家族様との連携を大切にしています。毎月各ご家庭へ担当職員より近況報告を行っており、ご家族様の意見等を伺いながら、支援に反映しています。



☆クリスマス会
 サンタさんをお願いして
 いたプレゼントを受け取り、
 大満足のご様子でした。
 最後は皆様と一緒に写真を撮り、
 楽しいクリスマス会となりました。



☆初日の出
 日の出の瞬間を迎えている
 様子です。
 あまりの綺麗さに驚いている
 方や日の出を指さして喜ぶ
 方、日の出を背景に記念撮
 影をされている方も、様々な
 楽しみ方をされていました。



☆忘年会
 今年一年間を振り返りながら食
 べる豪華な食事は格別のように、
 目を輝かせながら美味しそう
 に召し上がっていました。



☆初詣
 大和町内の神社へ初詣
 に行き、今年一年の願
 いを込めて参拝しました。
 皆様健康で楽しく生活
 できるよう、職員一同願
 っております。



☆新年会
 新年を迎え、皆様で
 お祝いしました。
 今年も皆様と楽しく
 様々な事を体験しなが
 ら彩りある一年にして
 いきます。



☆冬期間の作業
 農耕班の皆様は、ビニールハウス
 で栽培している野菜の収穫や商品化
 を行いました。また、積雪があつた
 際には、施設内の除雪を利用者様と
 職員で協力して行っています。
 例年と比べて雪が少なく暖冬と言
 われていますが、一日を通しての寒
 暖差が大きく、感染症もまだまだ流
 行しています。引き続き健康面への
 配慮を含め、支援をしていきたいと
 思います。

♡ まつくら センター ♡

◎就労継続支援 B型事業所

【センターの特色と目標】

地域で暮らす方々を対象に様々な就労の機会を提供し、工賃をお支払いしています。自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、支援しています。

かまくら園

◎入所支援と生活介護の提供

【園の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事を通して潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。

☆構造化支援（スケジュール）
 一日の予定を理解し、見通しを持った生活が出来るよう、利用者様の特性に合わせてスケジュールを用いた支援を行っています。
 時間や文字の理解がしやすい利用者様には言葉で（①）、絵の理解がしやすい利用者様には絵や写真で（②）提示しています。また、絵や写真での理解が難しい方には実物を提示し（③）、イメージをしやすいようにしています。
 まだまだ試行錯誤は続いています。利用者様が安心して日々を送れるよう、職員一同引き続き頑張っていきます。



③ ② ①



☆お正月
 新年行事として、書初めやお正月遊びをしました。また、手作りの神社とお賽銭箱で初詣体験をしました。獅子舞は邪気を食べてくれると言われています。今年も利用者様とご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



☆クリスマス会
 お弁当やシャンメリー、ケーキを召し上がりました。また、サンタクロースとトナカイがプレゼントを届けてくれて、皆様大興奮でした。



☆宮城県議会選挙・大和町長選挙
 十月には二つの選挙があり、利用者様全員に投票の意思確認を行いました。今後とも様々な生活面で利用者様の意思を尊重した支援を行っていきます。



☆日中活動・生活の様子
 買い物外出や訪問理髪、ドライブ、ピクニック等、皆様が充実した生活を送れるよう、日々支援しています。また、お誕生日を迎えた方は、園長との懇談会を楽しまれており（写真左上）、園長に要望を伝える機会となつていきます。皆様からの要望を、日々の支援に反映させています。



医療課 ワンポイント健康講座

貯金ならぬ「貯筋」



少しずつ寒さが和らぎ、春の訪れを感じるようになってきました。寒さに負けて、身体を動かす機会が減ってしまったのではないのでしょうか。

身体の衰えは、まず足から来ると言われています。少しの段差で躓いたり、階段の昇り降りが身体にこたえるようになったのは私だけでしょうか。



筋肉は再生が可能と言われています。日々の生活の中で少しの運動で身体が鍛えられ、筋力を維持できるような「貯筋」です。スクワットやウォーキング等がその代表的な運動です。



「毎日の仕事で歩いているから大丈夫」と私も思っていました。最近では転倒することが多くなっています。下肢の衰えを防ぐためにも、運動を取り入れたいと思います。皆さんも一緒に「貯金ならぬ貯筋」してみませんか。



なでくら センター

◎軽作業等による日中活動の提供

【センターの特色と目標】
「作業支援」や「社会体験外出」等に取り組み、地域との関わりを含め、「その人らしい生活の実現」を目指します。



今年度は、各園から利用者様が新たにメンバーに加わり、より一層にぎやかに活動しています。感染症対策により、地域交流行事等は引き続き見合わせていますが、利用者様から要望の多いドライブ外出を随時実施し、作業以外の楽しみも持ちながら活動しています。

☆屋内作業班
昨年四月より取り組んできたランドリー作業では、タオルのアルファベットを見分け、係ごとに仕分けられるようになった方、袋の紐を上手に結べる方、配達時の台車押しが得意な方等、一年間で利用者様それぞれが成長し、役割を持って取り組まれています。その他、塗り絵や壁面装飾作り、学習プリント、漢字の書き取り等、好きな作業や学習にも意欲的に取り組まれています。



☆屋外作業班
十一月には、坂の下と「希望の家」の花壇にピオラとパンジーの定植を行いました。また、各園・事務管理センターには、プランターの寄せ植えを納品しています。現在は、温室やピニールハウスの清掃を行い、来年度の準備を進めています。

☆自立課題活動班
自閉症のある方を対象に、課題活動を行っています。写真・絵カードを用いて分かりやすくスケジュールを提示することにより、見通しを持って活動されています。



☆介護予防教室
誰もががむけられたまちで自分らしく暮らしていくことを目指し、十月三十日に介護予防教室を開催しました。大和町吉田コミュニティセンターにて実施し、四十四名の方にご参加いただきました。大和町役場、大和町地域包括支援センター、より講師をお招きし、「認知症」や「介護予防体操」等について教えていただきました。



【活動日】
土日祝日を除く毎日
(9時20分～15時30分)



食事サービス課

船形の郷の給食といえは、『調理員のお勧めメニュー』。調理員が、利用者様の皆様に食べていただきたいお勧めの料理を振る舞います。

今年度提供したメニューの一例をご紹介します。



 豚カツラーメン すんだパン	 揚げパン グラタン
 冷麺 秋なすピザ	 鶏肉のフォー オムレツ

これからも、利用者様の皆様に喜んでいただけるメニュー作りと、安心で安全な食事の提供に努めていきます。

また、皆様が健康に生活できるよう、衛生管理も徹底しながら、食事の面でサポートしていきます。



地域移行推進部

【推進部の特色】
入所や短期入所に係る相談の受付や、利用者様の地域生活移行等を担当している部署です。

◇入所・短期入所について

○利用対象となる方
入所・・・知的障害のある障害支援区分4以上(50歳以上の方は障害支援区分3以上)の方
短期入所・・・知的障害のある障害支援区分1以上の方。

入所申込み・短期入所利用の流れ

① 見学・相談申込み
ご希望の方は、地域移行推進部までご連絡ください。
(☎:0221-34513200)

② 来所・生活状況等の確認
相談支援事業所の同席をお願いしております。

※現在、感染症対策の観点から居住棟内部へのご見学はご遠慮いただいておりますので、予めご了承願います。

③ 入所申込み・短期入所契約



整備推進室

◇令和五年度工事の状況
令和六年三月下旬の完成を目指し、工事が順調に進められています。
☆リハビリ室の状況
リハビリテーションの機器が納入され、段階的に専門職によるリハビリテーションを開始する予定です。



☆事務管理棟の新築工事

区画された白い仮囲い等も撤去され、今後は内外装工事・外構工事等が順次進められていくこととなります。



☆作業舎の改築工事

現事務管理棟北側の小高い丘に、二〇〇㎡の倉庫兼作業舎の工事が進められています。



☆旧とがくら園の大規模改修工事
内装がリニューアルされた旧とがくら園が、令和六年度に新居棟として生まれ変わります。
現在の進捗状況としては、園内及び居室内の床の仕上げ・壁の塗装等が進められています。



☆車庫棟の新築工事

現事務管理棟前の駐車場一部分を作業エリアとして工事が進められ、今後は外構工事が進められていくこととなります。

今後敷地内の工事が続き、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い致します。
なお、船形の郷ホームページにおいても工事関係の進捗状況等を掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

さよなら事務管理棟

長年親しまれてきた事務管理棟が、四月一日より新棟へ引っ越しとなります。総務課も移動となり、心機一新新しい建物での業務を心待ちにしているところです。

総務課では直接利用者の皆様と接する機会は少ないですが、利用者様が快適に過ごせるよう、施設の整備や職員の福利厚生を担っております。

また、船形の郷の窓口として、ご来所の皆様にも大変お世話になりました。今後ともお世話になりますことにも、利用者様が不自由なく生活できるように、施設の運営を行って参ります。



今回の改修工事では、利用者の方々の思い出がたくさん詰まった体育館も取り壊しとなります。

運動会や旧コーナー祭り等で長年活躍しており、名残惜しい気持ちもありますが、新しい船形の郷で利用者様の新たな思い出が増えるよう、総務課も尽力していければと思います。



ありがとう!

ホームページのご案内

施設概要の他、行事や活動の様子に掲載しておりますので、ご覧ください。



『宮城県船形の郷』で検索!

URL : <https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>

編集後記

とうやら今年も暖冬だったようですが、船形の郷は例年通りの肌寒さで、雪かきも一苦労でした(苦笑)。ですが、一面白銀で覆われた船形の郷は壮観で、趣深さも感じられました。

建替えの方では、新事務管理棟及び新居棟の完成が間近に控え、遂に四月から全面供用開始となります。

姿かたちは大きく変わりますが、新しい船形の郷が、職員・利用者様の変わらぬ笑顔で溢れた場所になることを祈っております。



六年三月

宮城県船形の郷 広報委員会